

第3期八頭町総合戦略KPI進捗状況一覧

令和8年6月29日

重点目標	項目	担当課等	目標	実績					評価	取組状況、今後の対応方針等
				令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度		
1 「誰もがいきいき活躍し笑顔あふれるまちづくり」	1 起業数	商工観光室	15社（5年間）	2社	－	－	－	－	計画未達	出る杭を伸ばす事業者応援補助金（起業創業型）の活用や商工会の伴走支援などもあり、一定の起業創業が認められる。起業創業の流れを継続できるよう商工会と連携した支援を行う。実績2社。
	2 誘致企業数	商工観光室	3社（5年間）	0社	－	－	－	－	計画未達	商工会・準Lab.と協力し企業誘致を図っていく
	3 事業承継数	商工観光室	10社（5年間）	0社	－	－	－	－	計画未達	事業承継に関する相談が1件あるため、引き続きフォローをしていく。また引き続き事業承継セミナーの開催による機運醸成や鳥取県事業承継・引継ぎ支援センターと連携した相談会の開催で潜在的な事業承継候補者の掘り起こしを図る。
	4 果樹担い手育成研修の受講者数	産業観光課	10名（5年間）	2名	－	－	－	－	目標達成	2名の研修生を受入し、果樹の担い手として育成中。引き続き担い手の確保をすすめる。
	5 公的森林整備面積	産業観光課	118ha（5年間）	11.6ha	－	－	－	－	計画未達	令和7年度に11.6haの整備を行った。整備に当たっては、所有者の同意が必要なため森林整備事業の丁寧な説明を行っていききたい。
	6 コミュニティセンター設置件数	福祉課・社会教育課	5箇所	0箇所	－	－	－	－	計画未達	八東地区コミュニティセンター設立に向けた取組みを実施し、整備検討委員会（3回）地元説明会（2回）開催し、意見を取り入れた施設整備と運営体制の構築に取組み、令和9年度の運用開始を目標とする。
	7 鳥取県男女共同参画企業の認定企業数	男女共同参画センター	35社	34社	－	－	－	－	目標達成	引き続き、鳥取県と連携し、企業訪問し啓発を行う。
	8 データ（医療・介護・健診）分析に基づく地域の健康課題に沿った健康教室への参加者数	保健課	400人	360人	－	－	－	－	計画未達	まちづくり委員会を全町（14地区）に設立途中にあるが、R8年3月西郡家地区まちづくり委員会が設立。今後より地域の健康課題に沿った健康教室を展開していく。
その他関連事業の実施状況		<ul style="list-style-type: none"> ・親元就農者の促進（交付金の支給による地域農業の担い手への定着支援） ・果樹栽培の担い手の確保（果樹トレーニングファームによる就農研修生を受入。令和7年度は2名受入） ・がん検診受診率向上に向けた受診勧奨や「受けようがん検診標語コンテスト」等による意識啓発 								

第3期八頭町総合戦略KPI進捗状況一覧

令和8年6月29日

重点目標	項目	担当課等	目標	実績					評価	取組状況、今後の対応方針等	
				令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度			
2 「みんなでもに子どもの笑顔を育むまちづくり」	9	マッチングイベントへの参加者数	企画課	150人（5年間）	66人	—	—	—	—	目標達成	令和7年度は4件のイベントを開催。66人（男性38人、女性28人）の参加があった。令和8年度は1事業につき複数回のイベントを実施する団体に対する委託費を増額し更なる参加者およびマッチング数の増加を図る。
	10	出生数	町民課	450人（5年間）	51人	—	—	—	—	計画未達	結婚から妊娠、出産まで状況に応じた支援を引き続き行うことで、出生数の増加につなげる。
	11	子育て用品のリユース品の受付窓口設置数（イベントでのリユースコーナー設置を含む。）	町民課	3箇所	4箇所	—	—	—	—	目標達成	子育て支援センターで常時リユースコーナーを開設し利用しやすい環境を整えた。また子育てフェスタ等のイベント時のリユースコーナー設置を増やし、より多くの方に利用していただき、資源の有効活用を図ることができた。リユースできない物等、持ち込み品の選別と周知が必要である。
	12	公共施設へのキッズコーナーの設置数	総務課	2箇所	0箇所	—	—	—	—	計画未達	令和8年度着工予定の八東地区コミュニティセンター（仮称）建設に合わせて1か所設置する。
	13	鳥取県男女共同参画企業の認定企業数（再掲）		35社	—	—	—	—	—		
	14	「地域や社会をよくするために何かしてみたい」と考える生徒（中学3年生）の割合	学校教育課	80.0%	73.4%	—	—	—	—	計画未達	令和7年度末の現状として評価指標に対する中学生の肯定的評価が73.4%であった。目標値に向けて、昨年度から取り組み始めたトークプログラムに、令和8年度も取り組む。この取組は、地域の大人や県内の大学生と中学生が八頭町のすばらしさや自分の生き方・考え方について語り合う内容で、生徒の地域における主体的な行動やふるさとをより良くしていく心身の醸成を図ることができるものと期待される。
	15	ジュニアリーダー（ブルーバード）の人数	社会教育課	25人	10人	—	—	—	—	計画未達	ブルーバードの活動の充実化を図り、加入者の確保に努める。
	その他関連事業の実施状況										<ul style="list-style-type: none"> ・子ども家庭センターの設置（令和7年度に設置。妊娠・出産・子育て期までの子育て家庭の相談をサポート） ・保育料の軽減（町で独自に3歳以上児の副食費及び第2子以降の保育料の無償化を実施。3歳以上児の主食費の無償化） ・学校におけるふるさとキャリア教育や主権者教育の実施 ・ジュニアリーダー等の育成・社会参画の促進（大学生団体FrontierSchoolと協力し、中学生の主体的な取組による廃校（市内）を活用したイベント、福祉まつり等への出店を実施）

第3期八頭町総合戦略KPI進捗状況一覧

令和8年6月29日

重点目標	項目	担当課等	目標	実績					評価	取組状況、今後の対応方針等
				令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度		
3 「笑顔でつながる人と地域がふれあいまちづくり」	16 観光入込客数	商工観光室	76万人	73.9万人	—	—	—	—	計画未達	おいでやす事業による近隣観光需要や関西万博の周辺観光需要の取り込みを狙ったが、複数の観光施設で利用者数の苦戦を強いられた。国内全体ではインバウンド需要が好調であるが、国内旅行に関しては宿泊費や燃料費高騰の影響により横ばいの状況である。観光地として更なる魅力の磨き上げや麒麟のまち観光局と連携したツアー造成、インバウンド観光の取り込みが必要となる。
	17 オンデマンド交通の導入	企画課	導入	未導入	—	—	—	—	計画未達	令和7年10月～12月に八東地域限定デマンド交通の実証運行を実施。全42日間、延べ244名利用。実証結果を受け、今後のデマンド交通導入を検討していく。
	18 空き家バンクの成約件数	企画課	75件（5年間）	21件	—	—	—	—	目標達成	移住定住支援センター（委託：一般社団法人Yearning for Yazu Project）等との連携による相談体制の充実により、成約件数が対前年度比175%に増加した。12月に開設した「さかさま不動産 鳥取県八頭支局」の活用や「空き家活用シンポジウム」開催による地域の機運醸成により、更なる成約件数の増加を図る。
	19 移住相談受付件数	企画課	650件（5年間）	219件	—	—	—	—	目標達成	移住定住支援センター（委託：一般社団法人Yearning for Yazu Project）等との連携による相談体制の充実により、相談受付件数が対前年度比172.4%に増加した。引き続き、県・連携中枢都市圏等の近隣自治体と連携した移住関連イベントへの積極的な参加等により魅力発信と相談体制の充実を図る。
	20 お試し住宅利用者数	企画課	30件（5年間）	10件	—	—	—	—	目標達成	二地域居住等の多様なライフスタイルに対応するため、利用要件の緩和を行った結果、利用者数が対前年度比250%に増加した。引き続き、移住定住支援センター及びふるさと鳥取県定住機構等との連携により移住希望者への広報を強化し、利用者数の増加を図る。
	21 新築住宅等取得者への固定資産税の軽減措置件数	税務課	200件（5年間）	35件	—	—	—	—	計画未達	国際情勢の影響を受け金利と取得価額が上昇しており新築住宅の取得が難しくなっていると考えられるが、町ホームページ等を通じたこの事業の継続周知等により移住定住の一助としたい。
	その他関連事業の実施状況				<ul style="list-style-type: none"> ・デマンド交通の導入に向けた取組（八東地域を限定にして、令和7年度実証実験を実施） ・IUターン者への就労支援（商工会等と連携した相談対応） ・空き家住宅等取得者への固定資産税の軽減措置拡充の検討 					

第3期八頭町総合戦略KPI進捗状況一覧

令和8年6月29日

重点目標	項目	担当課等	目標	実績					評価	取組状況、今後の対応方針等
				令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度		
4 「暮らしを支え笑顔が続く安全安心のまちづくり」	22 町営バス利用者数	企画課	35,000人	28,900人	—	—	—	—	計画未達	引き続き、通勤通学等での利便性を高めるため、鉄道や路線バスなどの他の公共交通機関に合わせたダイヤ改正を行い、利用促進に努める。また、通院や買い物等の移動に利用しやすいよう、平日日中のダイヤ編成についても検討していく。
	23 タクシー利用助成登録者数	企画課	1,000人	852人	—	—	—	—	計画未達	高齢者等の生活に必要な交通手段の確保のため、引き続き広報活動に努める。
	24 オンデマンド交通の導入(再掲)		導入		—	—	—	—		
	25 買い物支援サービスの登録者数	企画課	300人	47人	—	—	—	—	計画未達	登録者は地区福祉施設において飽和状態となっているため、まちづくり委員会に参加していない方などの新規登録者を増やしていく。
	26 住宅の耐震化率	防災室	87%	72%	—	—	—	—	計画未達	住宅の耐震化補助制度の周知や戸別訪問を行い、耐震化の促進を図る。
	その他関連事業の実施状況	<ul style="list-style-type: none"> ・町営バスの運行（委託2路線、直営5路線） ・ITを活用した買い物サービスの対象地域の拡大（令和6年度4地区、令和7年度10地区） ・集落の防災訓練の実施（町防災の日は「9月1日」。令和7年度は119集落で実施） 								